

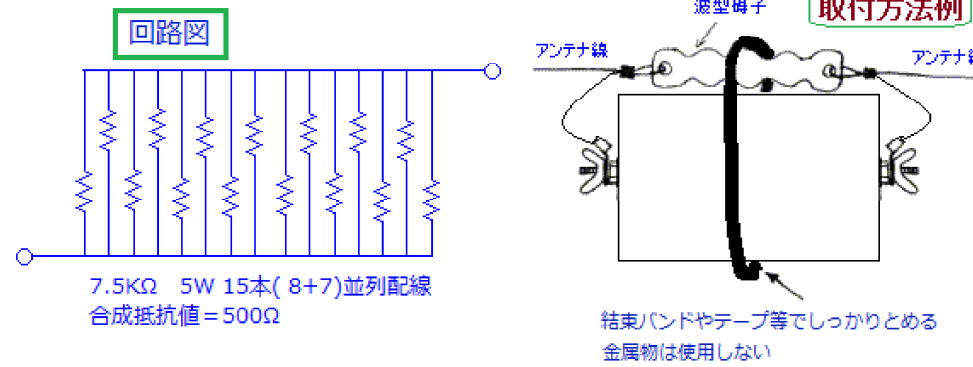
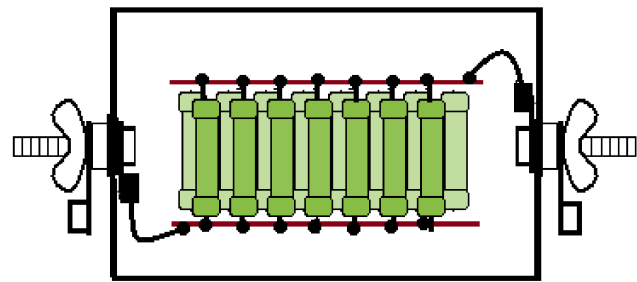
500ΩR-Vr3 (100W機対応 500Ω合成抵抗) 500Ω±5% 45W (max 75W) DC~30MHz

500ΩR-Vr3 合成抵抗の作り方

7.5KΩ(5W)の酸化金属抵抗を15本パラ(並列)接続して500Ω合成抵抗にします
 7.5KΩ(5W)の抵抗を抵抗足受板に取付半田付けします、抵抗足受板に、
 8本と7本の抵抗を2段構成で配列します
 ブラケースに収めてリード線を半田付けします、端子等を接着剤などで固めて、
 ふたをして完成です

部品表	
7.5KΩ 5W --- 15本	酸化金属被膜抵抗
抵抗足受板 --- 2枚	スズ引き線---15cm
ステンレス ちょうナット、ボルト、ナット、ワッシャー (ほか 端子 --- 2組)	
ブラケース 100×65×35mm --- 1個	
波型端子 --- 1個	結束バンド --- 1

500ΩR-Vr3 合成抵抗 構成図
 ケースサイズ: 100×65×35mm



1、抵抗足受板2枚を8足受側と7足受側を揃えます

抵抗 抵抗足受板 2枚 8足受 7足受 8足受 7足受

2、抵抗のリード足を受板の内側まで折り曲げます

8足受 抵抗のリード足を抵抗足受板の内側に折り曲げる 7足受

3、8足受側に8本の抵抗を取付けます

8足受 8足受 7足受 7足受

4、7足受側も7本の抵抗を取付けます 合計15本です

8足受 7足受

5、抵抗足受板の各反対側に端子配線用リード線を配線し、抵抗足受板の抵抗と半田付けします

6、ケースに収めて両端子に半田付けします

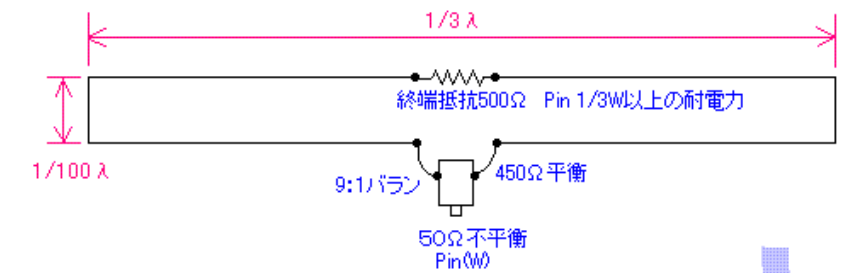
平ワッシャー ナット
 ラグ端子 スプリングワッシャー
 4mmボルト 蝶ナット
 菊ワッシャー 平ワッシャー
 圧着端子
 内側 外側
 ブラBOX

Tilted Terminated Folded Dipole

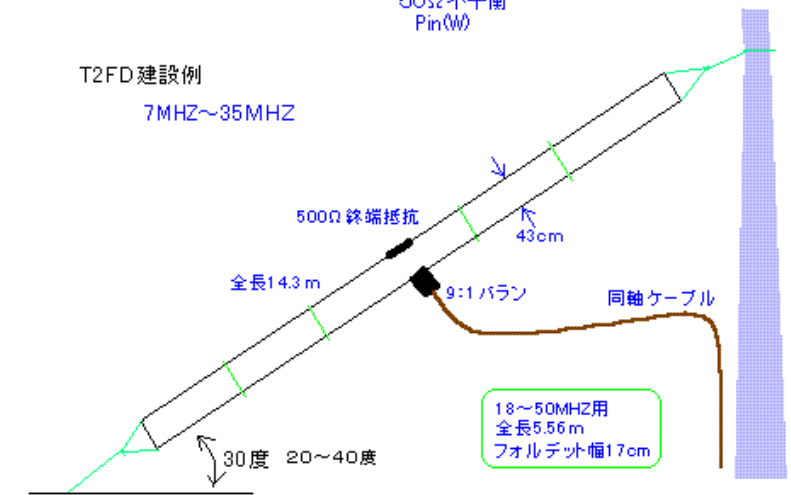
終端抵抗型、傾斜式、フォルデッドダイポール

T2FDアンテナ資料

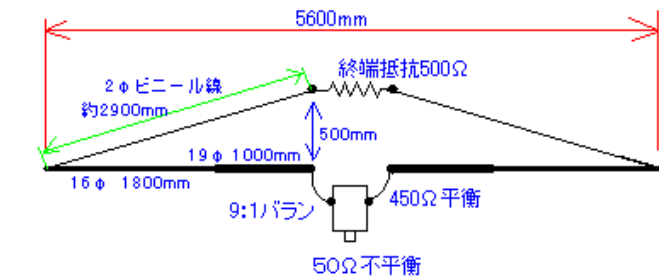
T2FDの特長 *無調整で広帯域 SWR2.0以下で1:5
 *アンテナの傾斜角度は、30度(20~40°)で無指向性



T2FD建設例
 7MHz~35MHz



(例) 変形T2FDの構成
 CQ Ham Radio誌1993年6月号にJH2TQH氏が発表した 変形T2FDの構成



参考文献

- *CQ出版社 ダイナミックハムシリーズ16 「ワイヤーアンテナ」
- *CQ ham radio誌 1991年9月号 JA1FGW吉田武氏「T2FDのすべて」
- *CQ ham radio誌 1993年6月号 JH2TQH太田氏「変形T2FDアンテナ」